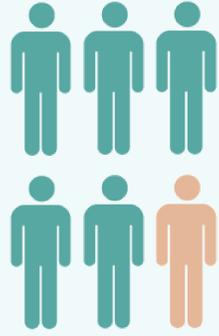




図書館サポーターとは？

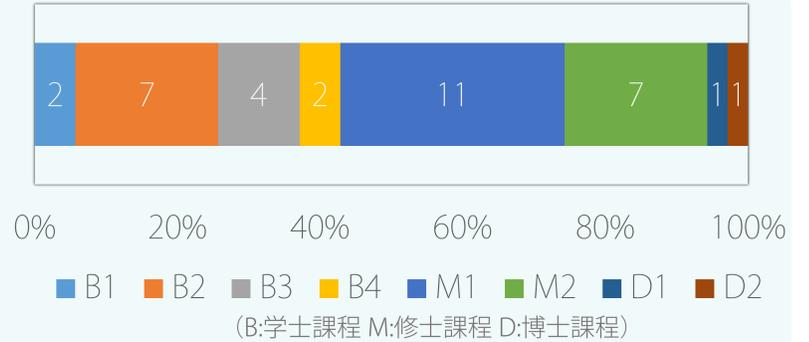
東工大附属図書館では、学士課程1年から博士2年までの学生が図書館サポーターとして活動しています。専攻はさまざまで、大多数はいわゆる「理工系」といわれる人たちですが、少数ながら文系出身者も活動しています。また、留学生が活躍しているのも図書館サポーターの特徴です。留学生は、普段の業務はもちろん、母国から来訪した図書館見学者の案内を担当することもあります。

留学生、活躍中！



35名中6名が留学生

学士課程から、博士課程まで。



サポーターの学年・専攻はさまざま。多様な人材が所属しています。

図書館を支える

日常的に行うのは、図書館を支える業務です。おもに2つのグループで活動しています。

利用支援グループでは、カウンターで図書の貸出・返却に対応したり、返却された本を書架へ戻す作業を行います。書架に並ぶ本を綺麗に整理するのも、サポーターの仕事のひとつです。

情報管理グループでは、学生の皆さんが利用する一般雑誌・学術雑誌の配架や、新着図書にバーコードやラベルを貼る作業を行います。



ピンクのストラップをつけて活動しています。日々、多様な業務に触れながら図書館をサポートします。

図書館を伝える

「企画展示」では、1年間に2,3回ほど、テーマに沿ってサポーターが本を紹介しています。おすすめ本のリストとポップを作成し、図書館内に展示します。展示した本は早々に借りていただくことが多いです！気になる方はお早めどうぞ。

また、キャンパス見学に訪れた高校生や、工大祭・ホームカミングデイにいらっしゃった一般の方に図書館内の案内をしています。利用者としての目線も加え、オリジナリティあるツアーを行います。



ポスターデザインもサポーターが担当します



図書館を飛びだす

New!

2018年度より、「人生を変えた1冊プロジェクト」をスタートさせました。このプロジェクトでは、サポーターが研究室を訪問し、様々な研究分野の第一線で活躍中の東工大の先生方の「人生を変えた1冊」についてインタビューしています。サポーターが数人でチームをつくり、インタビューの企画から編集まで取り組み、ゼロから記事を完成させます。図書館を飛びだし、「本」と「人生」という大きなテーマに取り組んでいます。



編集作業後、完成した記事を図書館Webサイトに掲載します